

インドネシア情報レポート

(2023年12月21日)

(公財)大阪産業局 インドネシアビジネスサポートデスク

PT. JAC Consulting Indonesia

2024年2月14日に投開票される次期大統領選挙を約2ヵ月後に控え、大統領候補による第1回討論会が12月12日、中央ジャカルタの総選挙委員会にて開かれました。人権や汚職撲滅、民主主義などテーマとして、アニス氏、ガンジャル氏並びにプラボウォ氏の3名がそれぞれの意見を交わしました。討論会前の11月29日～12月4日にかけて地元有力紙が38州の有権者1,364名に対して実施した支持率調査では、プラボウォ組が39.3%で首位でした。続いてアニス組が16.7%、ガンジャル組が15.3%でしたが、今回の討論会によりどのような影響が出ているのか注目されています。また次期大統領の外資規制や投資環境、労働法の見直し等の政策の方向性について多くの在インドネシア日系企業から注目が集まっています。

今月インドネシアの首都ジャカルタでは、12月6日～9日にかけて、国内最大の製造業展示会である「Manufacturing Indonesia」がJakarta International Expo (JI Expo) で開催されました。来場者は4日間合計で前年度比34%増の33,912人となり、コロナ前の2019年に匹敵する来場者が訪れる賑わいとなりました。本イベントは、工業用ロボや工具、産業AIを商材とする企業が製品を展示し、最新の技術やテクノロジーを披露しました。そんな中で、「China」や「Taiwan」と表示された看板が多くのエリアを占めており、展示会への熱量が非常に伝わりました。一方で日本も大型日系電機メーカーを中心として200社を超える日系企業が出展していました。大阪産業局も8社の大阪企業と共に展示会で「Osaka Japan」ブースを設け、大阪企業とインドネシア企業とのビジネスマッチングの機会を創出しました。日本人の来場者は勿論の事、日系製造業のインドネシア人エンジニアやディストリビューター、中華系セールス等幅広い企業が大阪産業局ブースに来場していました。今後、発注や販売代理店契約等さまざまなビジネス関係の構築が期待されます。今回のManufacturing Indonesiaは大型な展示会イベントに含まれますが、化粧品・スキンケア業界展示会やIT、2輪4輪など様々な業界や規模の展示会が年間を通してジャカルタで行われます。人口2億8千万人超のインドネシアでは今後も各産業の発展が期待されます、是非インドネシアの展示会への出展・来場をご検討ください。インドネシア進出への大きな足掛かりができる機会となることが期待されます。